

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

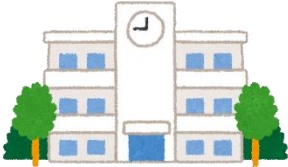
やさしい心



# 学校だより

かなざわ

第190号 令和5年5月25日



## 金沢支援学校 今年度の学校目標を紹介します

『目に青葉 山ほととぎす 初鯉』江戸時代に詠まれたこの句には初夏を表す「季語」が3つも盛り込まれています。緑が勢いを増し陽射しがまぶしいこの季節、天気の良い日は外活動を楽しむ姿が多くみられるようになりました。6月からは4年ぶりにプールが再開します。子どもたちはもちろんのこと私たちも楽しみにしています。

さて、年度が替わり、学校目標も一部新しくなりました。特に力を入れて取組みたい目標とその具体的な方策について紹介します。

**○学部間の教育課程の系統性を検証・整理し、社会参加を見据え、発達段階に応じた教育内容の充実を図る。**

これまで、発達段階に応じた系統的な教育内容について学部ごとに整理してきました。今年度は、学部を超えて小学部から高等部までの系統性のある教育内容を考え実践していきます。個別教育計画策定の際は、これまでの学習を踏まえた目標設定や取組み内容となるように一緒に考えていきましょう。

**○校内環境整備や防災整備を進め、誰にとっても分かりやすく活用しやすくする。**

引き続き校内の安全な環境を整備するとともに、発災時の安全な避難経路を確保し分かりやすい表示を工夫していきます。

**○地域との協働事業等を充実させ、児童・生徒が地域と相互理解を深めることのできる教育活動の充実を図る。**

昨年度は地域資源を活用し作品展を複数開催しました。今年度は新たな企業や団体との関係を構築し、地域との連携を広げていきます。

**○情報発信のあり方を検討し、児童・生徒の学習活動や学校の取組の発信を進める。**

ホームページや学年通信など情報発信のあり方を整理し、保護者や地域の方に必要な情報が正しく・わかりやすく・迅速に伝わるように取り組んでいきます。

学校教育目標の「子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを受け止め、自立と社会参加の基礎となる生きる力を育む」ためには、ご家庭との連携が欠かせません。教職員一同精一杯取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

副校長 坂梨 尚美

## B 部門紹介



### 小学部

今年度は 12 名の新入生と 1 人の転校生を迎えて、76 人で新年度が始まりました。まだ 4 月ですが、どのクラスも新しいクラスメイトや担任と、楽しそうにゲームやダンスをしている姿が見られています。上級生は進級して環境に変化があっても、大きな混乱なく過ごしていて、成長を感じますし、新入生は一生懸命に学校生活に取り組んでいてほほえましいです。子どもたちの笑顔とエネルギーに溢れる 1 年を過ごしたいと思います。

(小 B 学部長 木下 容子)

### 中学部

新入生 19 名を迎え、2 年生 19 名、3 年生 9 名の総勢 47 名で令和 5 年度がスタートしました。1 年生は、学年通信のタイトルを「Canvas～キャンバス～」と名付けました。「真っ白なキャンバスに、鮮やかな学校生活を共に描いていきたい」という思いを胸に、新しいことにもドンドン挑戦していきたいと思います。2 年生は、これまでの学習の積み重ねを活かし、元気いっぱい明るく過ごしています。学年の授業ではクラスの垣根を越えて関わる等、学年としての一体感が増しています。3 年生は、高等部に向けてそれぞれが課題と向き合うことや、体づくりの周回走や作業学習等、クラス全体で熱心に取り組み後輩たちの手本となれるように頑張っています。それぞれのクラスや学年、学部全体での学びあいを通して成長していくことを楽しみにしています。

(中 B 学部長 米満 和孝)

新入生や転入生を迎えて元気一杯に小 B・中 B がスタートしました。今年度は、プールでの学習や金沢学習発表会など、子どもたちにとって、初めての活動や久しぶりの活動も多くなります。これまで同様、手洗い等の基本的な生活習慣の学習を積み重ねながら、子どもたちと教員と力を合わせて取り組んでいきたいと思います。どうぞ、みなさん頑張る子どもたちを応援してください！

(B 部門長 杉原 多美)